

令和二年度学力検査

A  
国語

(九時三十分～十時十五分、四十五分間)

問題用紙

注意


- 一、「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
- 二、答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
- 三、問題は、**1** から **5** までで、六ページにわたって印刷してあります。  
なお、問題用紙のほかに別紙があり、表に別紙1、裏に別紙2が印刷されています。
- 四、「開始」の合図で、解答用紙の決められた欄に受検番号を書きなさい。
- 五、問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 六、「終了」の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

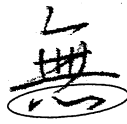
1

- 次の①～⑧の文の傍線部分について、漢字は読みをひらがなで書き、ひらがなは漢字に直しなさい。(八点)
- ① 本を大切に扱う。
  - ② みかんを搾る。
  - ③ 愉快な一日を過ごす。
  - ④ 文章の体裁を整える。
  - ⑤ ひたいに汗する。
  - ⑥ おさない妹と遊ぶ。
  - ⑦ こんざつを避ける。
  - ⑧ えんじゆくした演技を観る。

2

別紙1の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十二点)

(一) 次の漢字は、傍線部分①「無」を行書で書いたものである。この行書で書かれた漢字の  で囲まれた部分に見られる特徴として最も適当なものを選び、あとのア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。



- ア、楷書と比べ、筆順が異なっている。
- イ、楷書と比べ、点画が省略されている。
- ウ、楷書ではらう部分を、はねている。
- エ、楷書ではねる部分を、とめている。

(二) 傍線部分②「ドライブの前にお父さんが車を洗ったり点検したりするのと同じ」とあるが、川野さんは、メガネのクリーニングや調整を行う目的は何であると言っているか。本文中から六字で抜き出して書きなさい。

(三) 傍線部分③「メガネをかけて帰ってくる」とあるが、この部分は、いくつの単語に分けられるか。次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、四
- イ、五
- ウ、六
- エ、七

(四) 傍線部分④「急に照れくさくなって、もじもじしてしまって、でも、なんとなく、胸がふわっと温もった」とあるが、なっちゃんが、このように感じたのはなぜか。その理由を、なっちゃんが嫌だったことにふれて、本文中の言葉を使って、「……から。」につながるように、三十字以上四十字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(五) 傍線部分⑤「メガネは目をよくしてくれるだけなのに、しゃべる声までくつきりと聞こえてくる」とあるが、この文で表現されている、なっちゃん

- ア、川野さんが学校以外でもおしゃべりだということを知って、もつと話したいと思っている。
- イ、川野さんのメガネを使つてきれいな虹ができたので、親しくなつてよかつたと感じている。
- ウ、川野さんとメガネについての話をしたことにより、明るくて前向きな気持ちになつている。
- エ、川野さんに悩みごとを聞いてもらったため、今後は川野さんを大切にしようと思つている。

別紙2の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十二点)

(一) 波線部分①「隠れ」と波線部分②「隠し」について、これらの動詞の活用の種類の組み合わせとして最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、① — 五段活用      ② — 下一段活用      イ、① — 下一段活用      ② — 上一段活用  
 ウ、① — 下一段活用      ② — 五段活用      エ、① — 上一段活用      ② — 下一段活用

(二) 傍線部分①「紅葉の名所といわれるところ」とあるが、次の [ ] に入る最も適当な言葉を、本文中の言葉を使って、五字で書きなさい。  
 [ ] に入る最も適当な言葉は、美しく紅葉する条件について、本文の内容をまとめたものである。

美しく紅葉する条件として、昼が暖かいこと、夜に冷えること、紫外線を多く含む太陽の光が強くだることに加え、 [ ] ことがあり、紅葉の名所といわれるところは、これらの条件がよくそろっている、高い山の斜面が多くなる。

(三) 傍線部分②「この色素には、イチヨウの黄葉と同じ役割が考えられます」とあるが、赤い色素であるアントシアニンと黄色の色素であるカロテノイドに共通する役割とはどのようなことか。本文中の言葉を使って、「……こと。」につながるように、二十字以上三十字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(四) 次の表は、本文に述べられている黄葉と紅葉との違いについてまとめたものである。表の中の [ ] A [ ] B [ ] C に入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを、あとのア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

色素	黄葉 (例 イチヨウ)	紅葉 (例 カエデ、ナナカマド)
色づくしくみ	カロテノイド 緑色の色素が消えていくと、隠れていた黄色の色素が だんだん目立ってくる。	アントシアニン 緑色の色素がなくなるにつれて、赤い色素が
色づきの状態	年や場所によって [ ] B [ ]	年や場所によって [ ] C [ ]

- ア、A — だんだん消えていく      B — あまり変化がない      C — 異なる  
 イ、A — 新たにつくられる      B — あまり変化がない      C — 異なる  
 ウ、A — だんだん消えていく      B — 異なる      C — あまり変化がない  
 エ、A — 新たにつくられる      B — 異なる      C — あまり変化がない

(五) この文章の表現や構成の特徴として最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、植物を擬人化した表現を用いることによって、読者に親しみを持たせている。  
 イ、文体を常体で統一することによって、研究論文のような印象を持たせている。  
 ウ、植物に関する実験の結果を示すことで、自分の意見に説得力を持たせている。  
 エ、前半と後半とで相反する考え方を示すことで、主張に広がりを持たせている。

(次のページへ)

次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(八点)

菅原道真が(注1) 旅立つことを決心された

菅家、大宰府におぼしめしたちけるころ、

東風吹かば(注2)にほひおこせよ梅の花 主なしとて春(注2)な忘れそ

とよみおきて、都を出でて、筑紫に移り給ひてのち、かの紅梅殿、梅の片枝、飛び参りて、生(注4)ひ付きにけり。

ある時、この梅に向ひて、

(注3) 世であつたなら どうかして昔のことを尋ねただろうに

ふるさとの花のものいふ世なりせばいかに昔のことをとほまし

(注2) お詠みになった時

とながめ給ひければ、この木、

(注3) 先人の旧宅

先人於故宅(注3) (先人故宅に於て)

籬 廃(注5)於旧年(注5) (籬、旧年に廃る)

麋鹿猶棲所(注5) (麋鹿、猶棲む所)

無(注4)主独碧天 (主無くして独り碧天)

(注4) 返事をした

(注4) 驚くほどで

(注4) 想像もつかないことではないか

と申したりけるこそ、あさましともあはれとも、心も及ばね。

(本文は『新編 日本古典文学全集 十訓抄』による。)

\* 一部表記を改めたところがある。

(注1) 大宰府 ——— 筑前の国(今の福岡県)に置かれた官庁。

(注2) 東風 ——— 東方から吹いてくる風。春風。

(注3) 筑紫 ——— 九州北部を中心とする地域の古い呼び名。

(注4) 紅梅殿 ——— 都にあった菅原道真の邸宅。

(注5) 籬 ——— 柴や竹で間を広くあけて造った垣根。

(一) 傍線部分①「ほひおこせよ」を現代仮名遣いに改め、すべてひらがなで書きなさい。

(二) 傍線部分②「春な忘れそ」の、現代語訳として最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、春を忘れてはいけない

イ、春を忘れないだろう

ウ、春を忘れてしまってもよい

エ、春を忘れてしまいそうだ

(三) 傍線部分③「先人於故宅」を、「先人故宅に於て」と読むことができるように返り点をつけたものは、次のア～エのうちどれか。最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、先人<sub>ニ</sub>於<sub>レ</sub>故宅<sub>一</sub>

イ、先人<sub>レ</sub>於<sub>レ</sub>故宅<sub>一</sub>

ウ、先人<sub>於</sub>故宅<sub>一</sub>

エ、先人<sub>於</sub>故宅<sub>一</sub>

(四) 傍線部分④「あさましともあはれとも、心も及ばれね」は、筆者の感想である。これはどのようなことに対しての筆者の感想か。次の中の文の [ ] に入る言葉を、十字以上十五字以内の現代語で書きなさい。

梅の木が、主人の移った土地まで飛んで行き、生えついたらうえに、

[ ] こと。

(次のページへ) ←

5

次の【話し合いの様子】は、中学校の生徒会長のあやかさんが他の生徒会役員とボランティア活動について話し合ったときの様子の一部であり、【資料1】、【資料2】、【資料3】、【資料4】は、全校生徒に実施したアンケートの結果をまとめたものである。これらを読んで、あとの各問いに答えなさい。(十占)

【話し合いの様子】

あやかさん

はじめに、全校生徒に実施したアンケートの結果を見てみよう。まず【資料1】で、

はるとさん

【資料2】を見ると、ボランティア活動に参加した理由は、「社会の役に立ちたいから」がいちばん多く、次いで、「自分の成長につながると考えたから」、「知人に誘われたから」の順になっているね。

あやかさん

【資料3】を見ると、ボランティア活動に参加しない理由は、「参加する時間がないから」、「何をすればよいのかわからないから」、「自分にできるかどうか自信がないから」が多いことがわかるね。

さつきさん

でも、ボランティア活動に参加したことがない人で「今後、ボランティア活動に参加してみたい」と答えた人が一九五人もいることが【資料4】でわかるよ。ボランティア活動に参加したことがない人のほとんどが、参加する意思はあるということだね。

そうたさん

これらの結果から考えると、もしかして、ボランティア活動は

と捉えられているのかも。私も、「ボランティア活動」と聞くと、災害救助や被災地の復興支援のように、現地に行つて、困っている人を支援するような活動を想像するよ。全校生徒の多くの人がそういうイメージをもっていることによつて、【資料1】のような結果になったのではないかな。

そうかもしれないね。ボランティア活動はやっぱり

はるとさん

そんなことはないと思うよ。私たちにも参加できて、今まで参加したことがない人も「やってみよう」と思えるようなボランティア活動があるのではないかな。

あやかさん

そうだね。ボランティア活動の参加者を増やすための工夫を考えたいね。

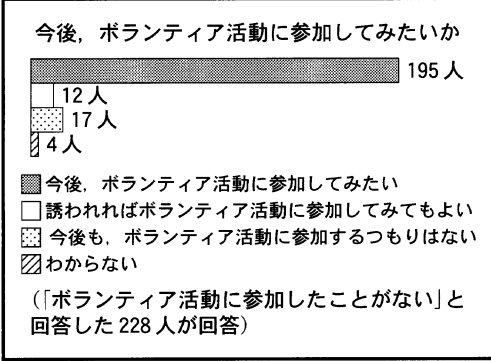
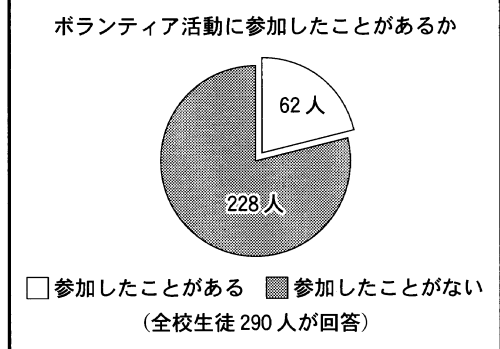
あやかさん

そうだね。ボランティア活動の参加者を増やすための工夫を考えたいね。

【資料3】

参加する時間がないから	94
何をすればよいのかわからないから	69
自分にできるかどうか自信がないから	48
1人で参加するのは不安だから	12
その他	5

単位：人  
 (「ボランティア活動に参加したことがない」と回答した228人が回答)



【資料2】

社会の役に立ちたいから	19
自分の成長につながると考えたから	16
知人に誘われたから	13
楽しそうだったから	11
その他	3

単位：人  
 (「ボランティア活動に参加したことがある」と回答した62人が回答)

